

ほのほのだよ

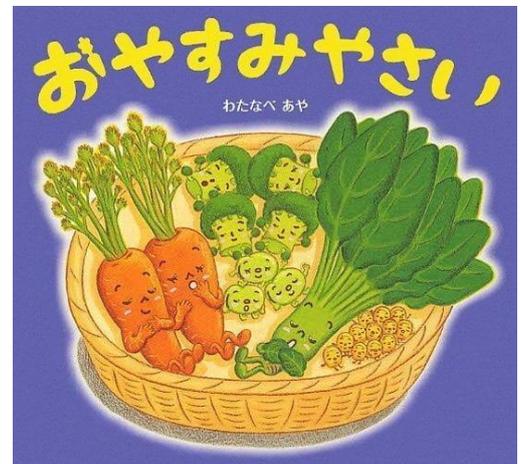
～ 親子で楽しむ 絵本の世界 ～

少しずつ春を感じる3月。ひとつ大きくなる期待や、ちょっぴり不安で心が揺れる季節です。子どもの“今”の気持ちにやさしく寄り添う2冊を紹介します。くすっと笑える言葉あそびと、「ぷんすかぷん！」とまっすぐな感情表現。毎日の読み聞かせに、ほっこりとあたたかい時間を届けてくれる絵本です。

「おやすみやさい」

出版社：ひかりのくに
作：窪田 愛
絵：わたなべ あや

夜になるとにんじんやキャベツ、トマトたちが次々に「おやすみなさい」と眠りにつく様子が描かれた、ことばあそび絵本です。読み進めるうちに自然と“おやすみモード”に切り替わり「野菜もねんねするのね」と、読み終わった後も会話が広がりそうです。



「おにのこ にこちゃん かーしーて！ ぷんすかぷん！」

出版社：株式会社 ポプラ社
作：ケロポンズ
絵：原 あいみ

おにのこ にこちゃんは、元気いっぱいだけど気持ちもまっすぐな女の子。自分の気持ちを伝えること、そして思い通りにならない経験。小さな“ぷんすか”の中に、子どもの成長の芽がぎゅっと詰まっています。怒った顔も、泣き顔も、成長の一步。最後はにこちゃんらしく、笑顔がかわいい絵本です。

